

千葉

CHIBA
chiba@mainichi.co.jp

千葉支局

千260-0026
千葉市中央区千葉港7の3
043(247)0505
FAX043(247)0508
船橋支局
千273-0011
船橋市湊町2の12の4 湊町十二番館ビル402
047(432)0505
FAX047(432)0506
成田支局
千282-0011
成田空港第1ターミナルビル6F
0476(32)5821
FAX0476(32)5823
柏支局
千277-0852
柏市旭町2の8の26 リノア柏401号室
04(7148)4192
FAX04(7148)7823
松戸通信部
047(362)3133
銚子通信部
0479(22)0224
茂原通信部
0475(23)0505
館山通信部
0470(22)0311
木更津通信部
0438(22)2425
千葉県連合毎日会
043(279)1147

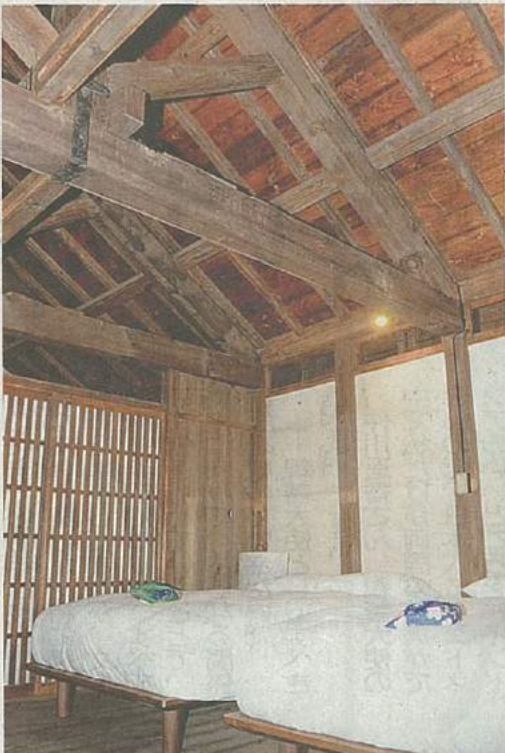
広告は



客室への改修が進む小野川沿いの1棟。築約70年の元料亭で、震災で激しく損壊し手つかずだった。写真は改修前(昨年6月撮影)。佐原信用金庫提供
現在の小野川沿いの1棟。使用している瓦などを含め、外観は創建時を復元している(1月15日撮影)
小野川周辺の綿蔵の2階に設けた寝室。梁(はり)などの構造がそのまま見られるようにしてある—いずれも香取市佐原イデ



「佐原商家町ホテルNIPPONIA」3月開業



江戸の町並みが残る香取市佐原地区に、古民家や蔵などを宿泊施設に改修した「佐原商家町ホテルNIPPONIA」が3月、開業する。町並みの保存継承と観光振興を目的に、京葉銀行と佐原信用金庫などがつづいた観光活性化ファンドを中心に資金調達し、改修が本格化した。同市は成田空港から近いが日帰り客が大半で、滞在して楽しめる観光地への転換を図る第一歩として、関係者は期待を寄せている。

【近藤浩之】

同地区は、築1000年・レストランになる年を超える商家などが、同震災による並ぶ。1996年には地盤沈下で6移傾いの重要伝統的建造物群保存地区に選定された。耐震の地盤強化剤注入などが大がかりな内部工事をする一方で、外観は創建時を復元。優美な指し物や天井などは、佐原の意匠を表すものはそのまま残した。定員は4棟で計18人。1泊2食付きで1人3万5000円。レス

江戸の町並み 古民家、蔵改修

佐原地区
江戸時代中期から、利根川水運を屋や醸造などの商工業で栄え、その財力と江戸との深い経済・文化交流から独自の文化が花開き「江戸優(まさ)り」と称された。小野川兩岸とその周辺には現在も当時の面影を今に伝える古い商家が建ち並んでおり、1996年、関東地方で初めて重要伝統的建造物群保存地区に選定された。2016年には佐倉成田銚子とともに「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」として日本遺産に認定。また同年、「佐原の大祭」で知られ江戸時代から300年以上続く「佐原の山車行事」が、国連教育科学文化機関(ユネスコ)の無形文化遺産に登録された。

トランは銀座などでフ素泊まり4000円ランス料理を手がける程度で利用できる相部有名シェフが監修し、屋タイプの「HOST季節の地元食材をふんEL CO-EDO」だんに使う。佐原信金も同地区に今春オーブの担当者は「所得が比ンし、バックパッカー較的高い中高年と訪日外国人客がターゲット。プロジェクトを運営日本旅館に引けを取る観光まちづくり会社「ニッポニアサワラ」を提供する」と胸を張る。

同市によると、年間50万人以上の観光客の大半が日帰りで、観光客1人あたりの消費額は約5000円に過ぎない。宿泊施設の整備が課題だったが、今秋にはさらに客室3棟が開業予定。また、

香取市とつくばみらい市「伊能」問宮育った縁 友好都市協定を締結



測量家の伊能忠敬が青壮年期を過ごした香取市と、伊能の測量術の弟子で探検家の問宮林蔵が生まれ育った茨城県つくばみらい市が19日、友好都市協定を締結した。今年には伊能忠敬没後200年にあ

【近藤浩之】

伊能が中心になって作成した日本全土の実測地図「大日本沿海輿地全図」の北海道部分には、問宮が測量した蝦夷地のデータを使ってまとめられている。

たり、両市は今後、記念事業での協力や両記念館での交流などを推進する。

香取市内で行われた締結式で、宇井成一・香取市長は「没後200年の節目の年に協定が結ばれ、時空を超えた巡り合わせのえにしを感じる」。片庭正雄・つくばみらい市長は「両偉人が築いた交友関係を生かし、幅広い分野で交流が進むことを大いに期待する」とあいさつした。